

# ＜日本の未来と人づくり＞ グローバル新時代の 次世代リーダー像

～明治150年、歴史に学び混迷の世界拓け～

今の日本社会は、AI、デジタル革命などといった驚異的な技術革新の進展に直面し、さらには国際紛争の頻発化など先行き不透明な世界情勢下において、将来予測が困難な時代を迎えています。こうした厳しい現状下で社会が必要とする人材像も大きく変わろうとしています。とりわけジャンルを問わず、次世代のリーダー人材育成が喫緊の課題との声が高まっています。2018年は明治150年の記念すべき節目の年。そこで第11回フォーラムでは、歴史学者の磯田道史氏を基調講演に招き、「明治150年とリーダー人材育成の要諦」をメインテーマに開催する予定です。歴史を教材に、混迷の時代を切り拓く志の高いリーダー人材の育成には何が一番必要か、その条件、あるべきリーダー像とは――最前線で活躍する5人のリーダーに次世代に寄せる熱い思いを語っていただきます。

風薫る5月のひと時、奮ってご参加下さい。

■日時 2018年5月27日(日)14:00～17:30(予定)(受付開始 13:30～)

■会場 立命館朱雀キャンパス 大講義室(5階)

(会場には駐車場・駐輪場はありません。公共交通機関をご利用ください)

## ●第1部 基調講演



講師 国際日本文化研究センター 准教授  
**磯田 道史 氏**

「武士の家計簿」著者  
テレビ出演多数!

1970年岡山生まれ、京都市在住。実家が鴨方藩重臣の家系だったことから、幼い頃より古文書に興味を持つ。2002年慶応義塾大学大学院文学研究科博士課程修了。静岡文化芸術大学教授を経て、2016年4月から国際日本文化研究センター(京都市)准教授。ベストセラーとなった『武士の家計簿「加賀藩御算用者」の幕末維新』で2003年新潮ドキュメント賞受賞。他に『天災から日本史を読みなおす』『「司馬遼太郎」で学ぶ日本史』『日本史の内幕』『素顔の西郷隆盛』など著書多数。

## ●第2部 パネルディスカッション パネリスト

## ファシリテーター



門川 大作氏  
京都市長



堀場 厚氏  
株式会社堀場製作所  
代表取締役会長兼グループCEO  
本懇話会会長



森島 朋三氏  
学校法人立命館  
理事長



小川 理子氏  
パナソニック株式会社執行役員  
テクニクスブランド事業担当  
アプライアンス社副社長 技術担当  
(兼) 技術本部長  
(兼) テクニクス事業推進室長

■主催：京都教育懇話会 ■共催：関西プレスクラブ

■会長：堀場 厚 (株式会社堀場製作所代表取締役会長兼グループCEO)

■法人会員：京都華頂大学、京都経済同友会、京都産業大学、京都市、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都造形芸術大学、京都大学、京都中央信用金庫、京都リサーチパーク、ケービデバス、光華女子学園、サムコ、島津製作所、親友会グループ、ダイソー、ツナグラボ、デリバ、日東薬品工業、日本漢字能力検定協会、パナソニック、堀場エステック、堀場製作所、立命館、龍谷大学、ワタベウェディング (50音順・下線は企画運営委員)

■後援：文部科学省、関西経済連合会、関西広域連合、京都府、京都府教育委員会、京都はくみネットワーク、ジュニア・アチーブメント日本、京都おやじの会連絡会  
■協力：京都新聞社、KBS京都